

市長記者会見



本日の案件

- 1 市制施行60周年事業等に関する市民アンケート結果について
- 2 まちづくりへの市民意見反映に向けたアンケート調査及び意見募集の実施について

令和 6 年 12 月 24 日

市長記者会見



1 市制施行60周年事業等に関する市民アンケート結果について

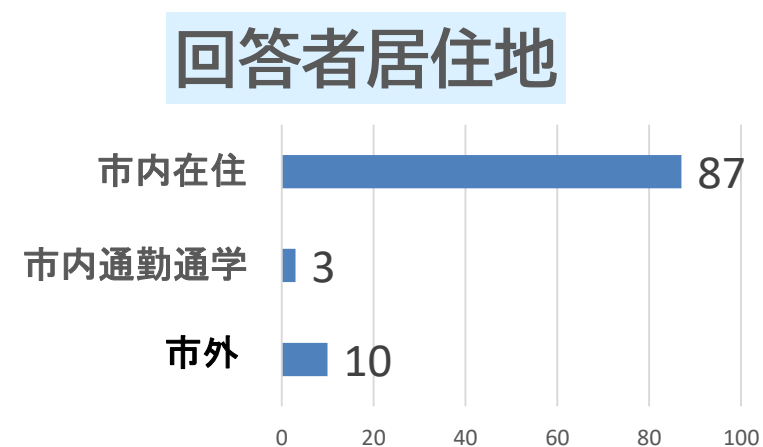
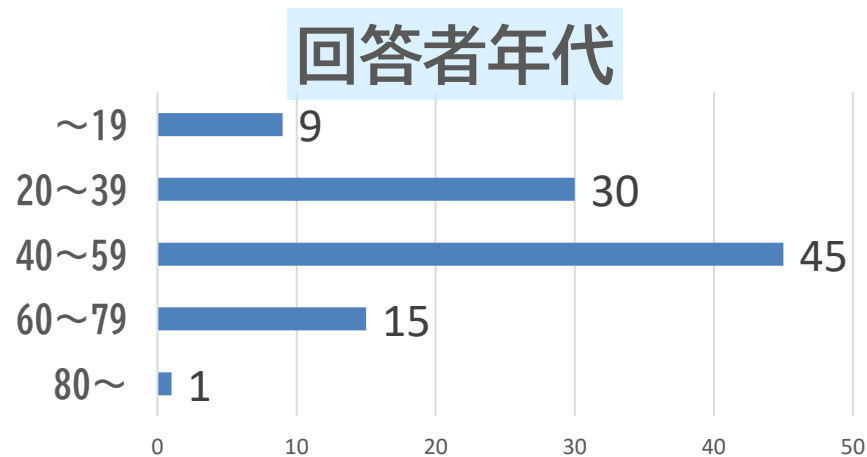


1. アンケートの概要



- 実施期間：令和6年8月26日～10月20日
- 対象：全市民
- 方法：Web（LoGoフォームによる）
- 回答者数：928名
(2024.10.1住基人口（15歳以上）271,144人の約0.3%)
- 主な結果（以下、グラフ数字の単位：%）

(1) 属性



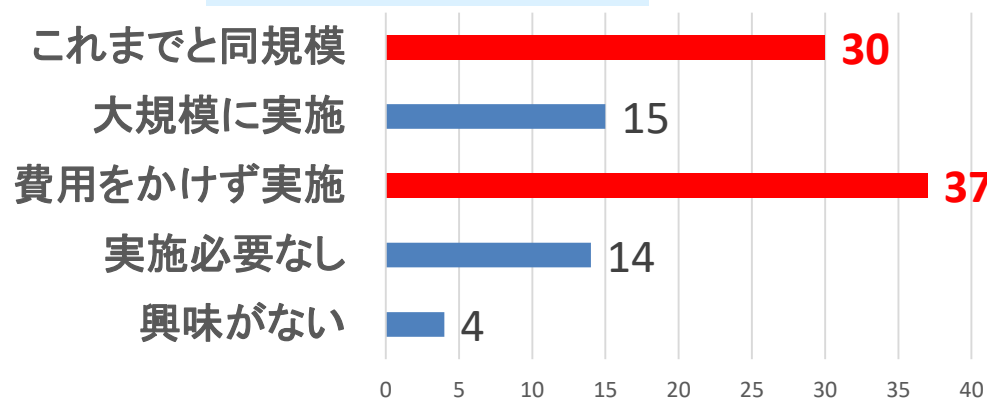


2. アンケート結果



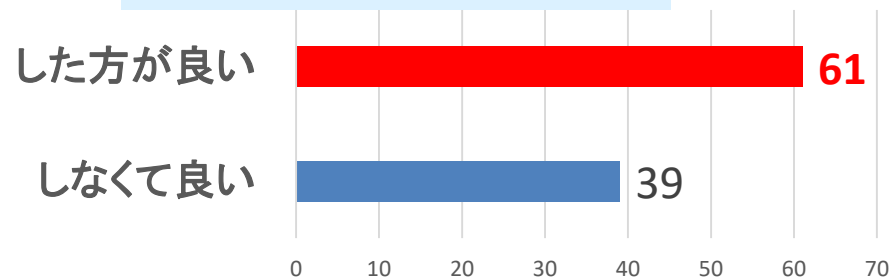
(2) 記念事業について

✓ 記念事業の規模



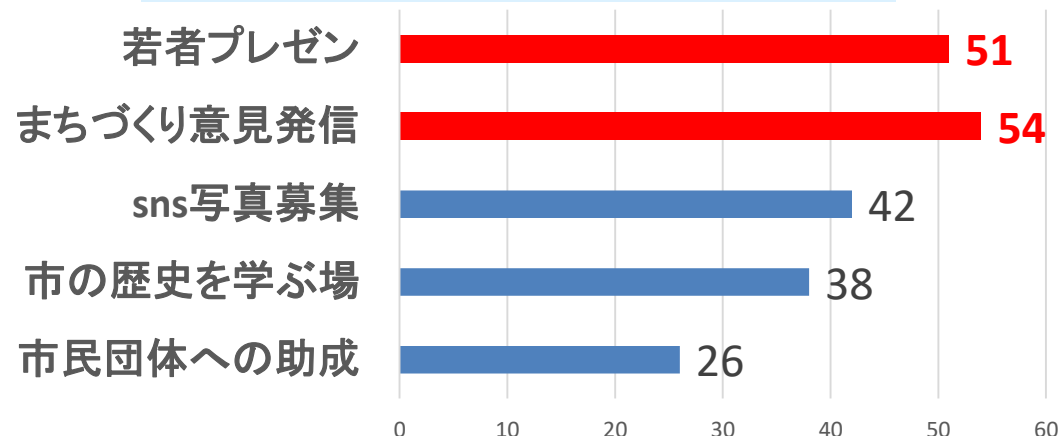
POINT!
「費用をかけず実施」と
「これまでと同規模実施」とで67%

✓ キャッチコピー作成



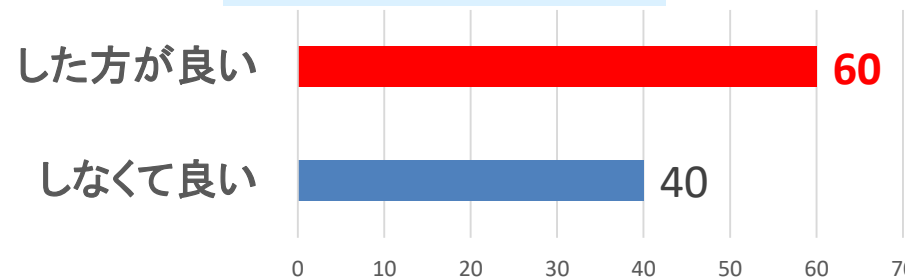
POINT!
キャッチコピー・ロゴマークとも作成支持が6割

✓ 市に希望する取り組み (複数回答可)



POINT!
市民アイデア募集・発信が上位

✓ ロゴマーク作成

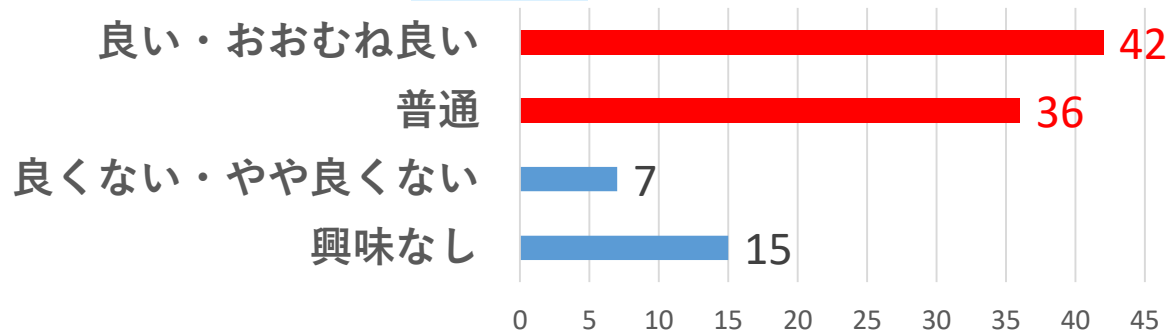


2.アンケート結果

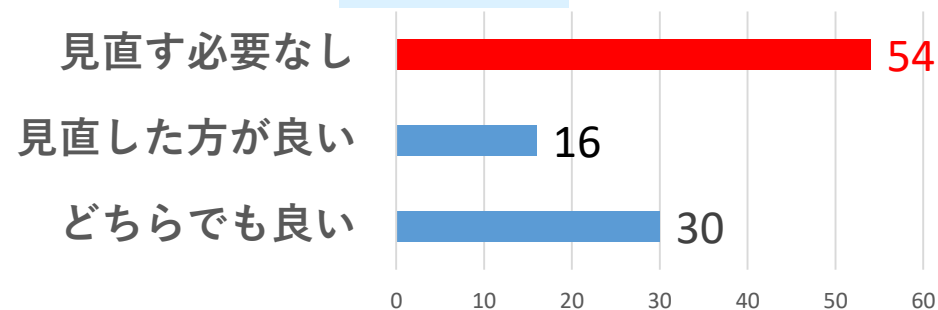


(3)市歌について

✓印象

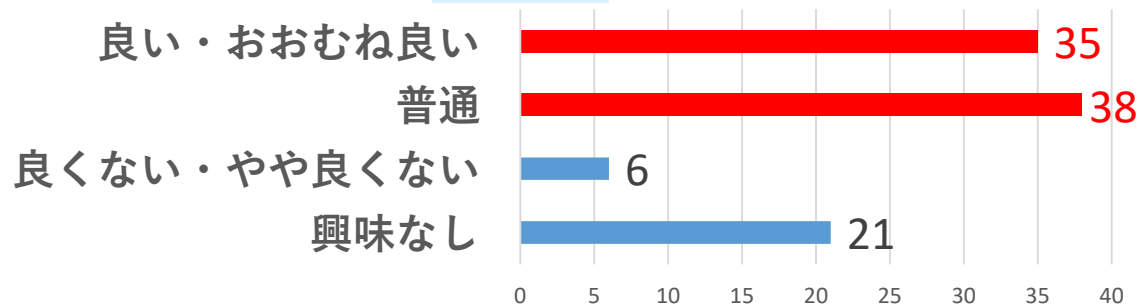


✓見直し

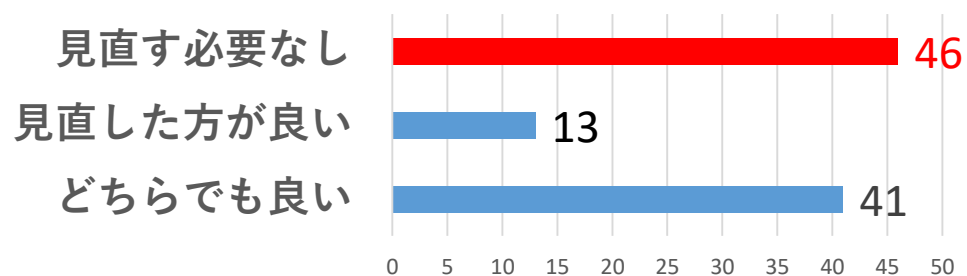


(4)市民憲章について

✓印象

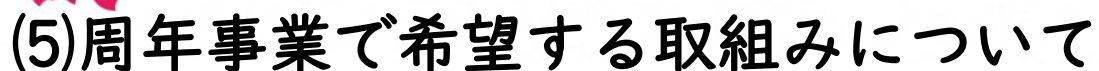


✓見直し

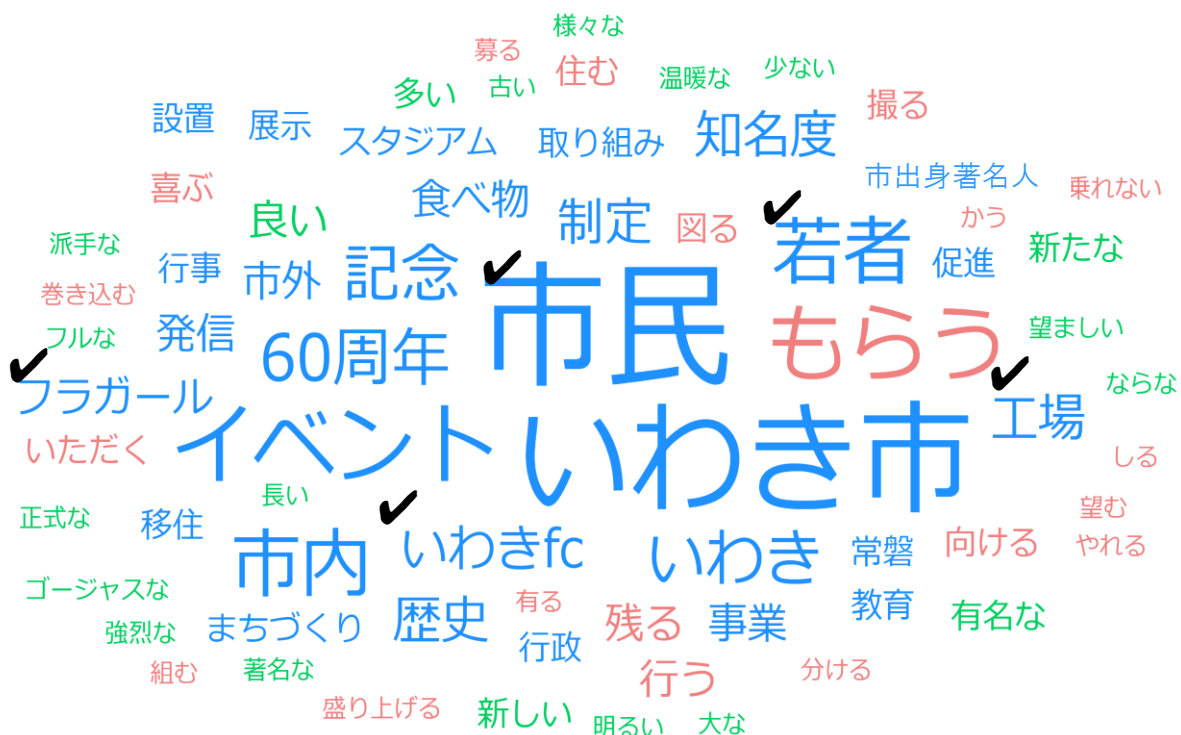


POINT !

市歌・市民憲章とも印象は良い。
「見直した方が良い」とする割合はどちらも2割に満たず少数であり、
早急な見直しのニーズは低い状況。



(6)合併後からこれまでの「いわき」に感じることにについて



-
- 必要 若者 小名浜 整備 一体感 環境 道路 人口減少 駅まちづくり 高齢者 公共施設 市長 発展 時代 期待 市民 地区 魅力 生活 市内人口 広域 いわきfc 行政 周辺 バス 未来 観光 イベント 子供 駅前 印象 現在 交通 事業 施設 子育て 地元 合併 街 いわき 市 場所

- ・市民の声の反映
- ・（主にいわき駅前）昔のような活気を取り戻してほしい
- ・若者も魅力を感じる施設をつくってほしい
- ・地域差がなくなってきたいわきの一体感が出てきている
- ・地区ごとの良さもある などのご意見をいただきました。

※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析（<https://textmining.userlocal.jp/>）

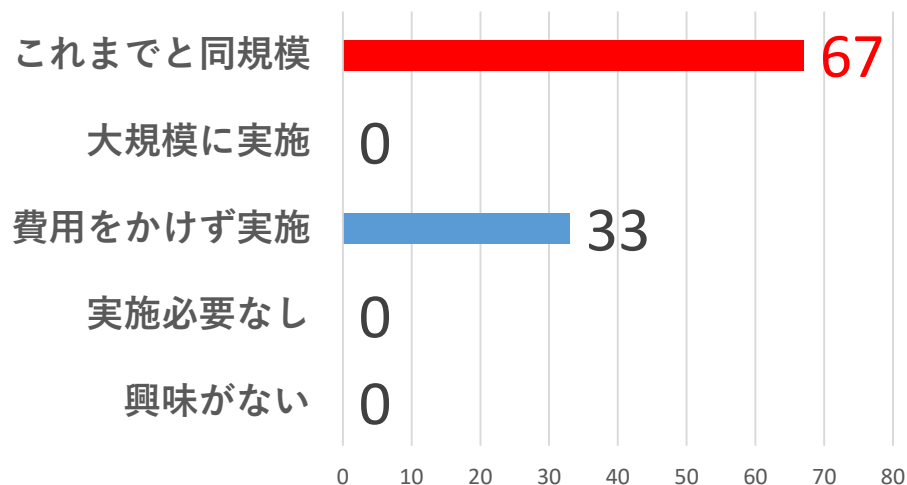
自由記述欄での登場回数の多い語が大きく表示されています（(6)は回答数が多いため名詞のみ記載）。

2.アンケート結果



(参考) まちづくり団体によるアンケートも実施（9団体から回答）

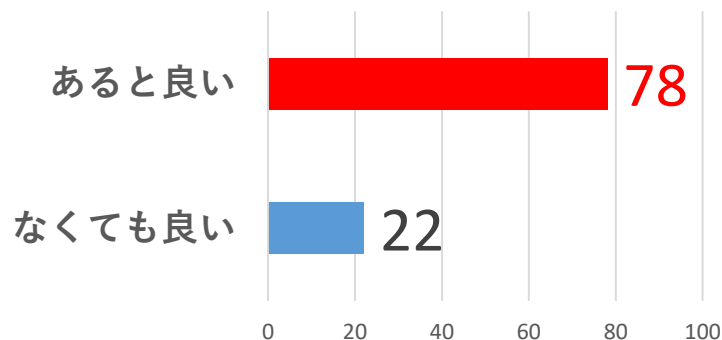
✓記念事業の規模



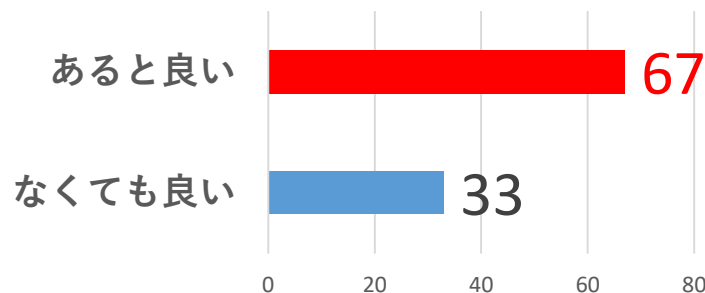
✓市が実施する望ましいと思われる事業（自由記載）

- 市民（地域づくり）団体が実施する事業への助成
- 長期的視点でのまちづくりのスタートやチャレンジとなるような事業への助成
- ロゴマークなど60周年をイメージ出来るもので盛り上げ
- アリオスで60周年を記念し有名人を迎えての講演会、協定都市等の郷土芸能など(カウアイ島も含め)
- 合併前の市町村の伝統芸能、祭り、イベント等の開催 など

✓キャッチコピー



✓ロゴマーク





3.アンケート結果を受けた事業の方向性（案）



アンケート結果を受け、来る令和8年は60周年をみんなで祝し

市民の皆様が主役となる事業、

いわきの魅力を再認識できる事業、

低コストでも記憶に残る事業

をコンセプトにさらに検討

令和8年、市制施行60周年に向け、
引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いします。

市長記者会見

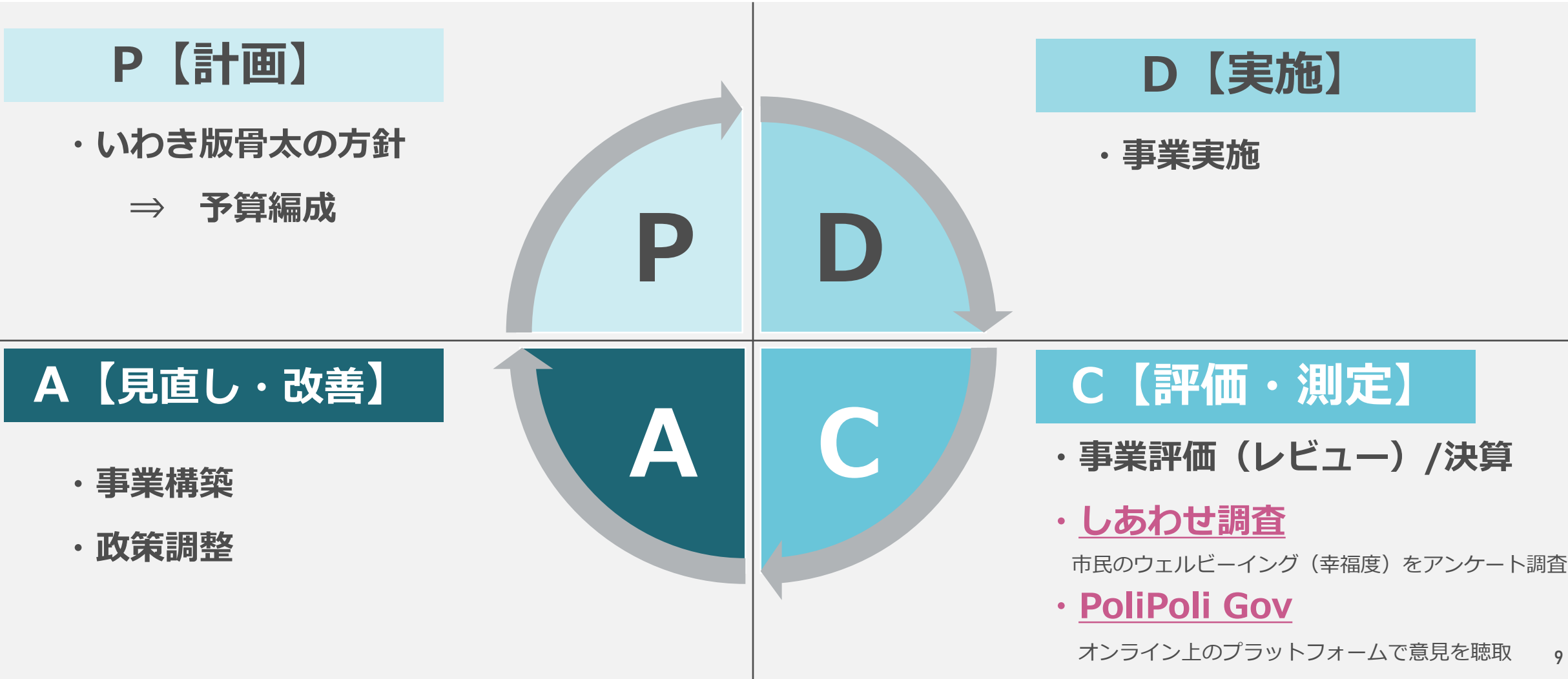


2

まちづくりへの市民意見反映に向けたアンケート調査及び意見募集の実施について

新たな市民意見聴取に関する政策形成サイクル上の事業位置付けイメージ

多様な市民意見等を反映したまちづくりを目指し、現在の政策形成サイクル（PDCAサイクル）のうち「政策効果の評価・測定（Check）」に市民意見をより反映させ、「政策の見直し・改善（Action）」に活用するための、**新たな取り組みとして市民意見の聴取（しあわせ調査、PoliPoliGov）を実施**



しあわせ調査（デジタル庁のウェルビーイング指標を活用した調査）

概要

市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」に関する選択式アンケート(50問)を実施
(デジタル庁が提唱する地域幸福度(Well-Being)指標を活用)

期間

令和6年12月27日(金)～令和7年1月26日(日)

回答方法

Logoフォームを活用したweb回答(別添チラシのQRコードより)

特徴

地域幸福度(Well-Being)指標とは、デジタル田園都市国家構想の実現に向け、デジタル庁が開発・導入したものであり、客観指標と主観指標のデータを活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Wellbeing)」を指標で数値化・可視化したもの。

しあわせ調査（デジタル庁のウェルビーイング指標を活用した調査）

デジタル庁のダッシュボードを活用し、カテゴリー別に幸福度を数値化・可視化

アンケートにより主観データを調査・把握

Q4. **【幸福度・満足度】** 現在、あなたはどの程度幸せですか。
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

項目ID: 1

▲ 幸福度・満足度を測る設問

○ 10

○ 9

○ 8

○ 7

○ 6

○ 5

○ 4

○ 3

○ 2

▼ 因子別に主観を測る設問

Q9. **【医療・福祉】** 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい。

項目ID: 6

○ 非常にあてはまる

○ ある程度あてはまる

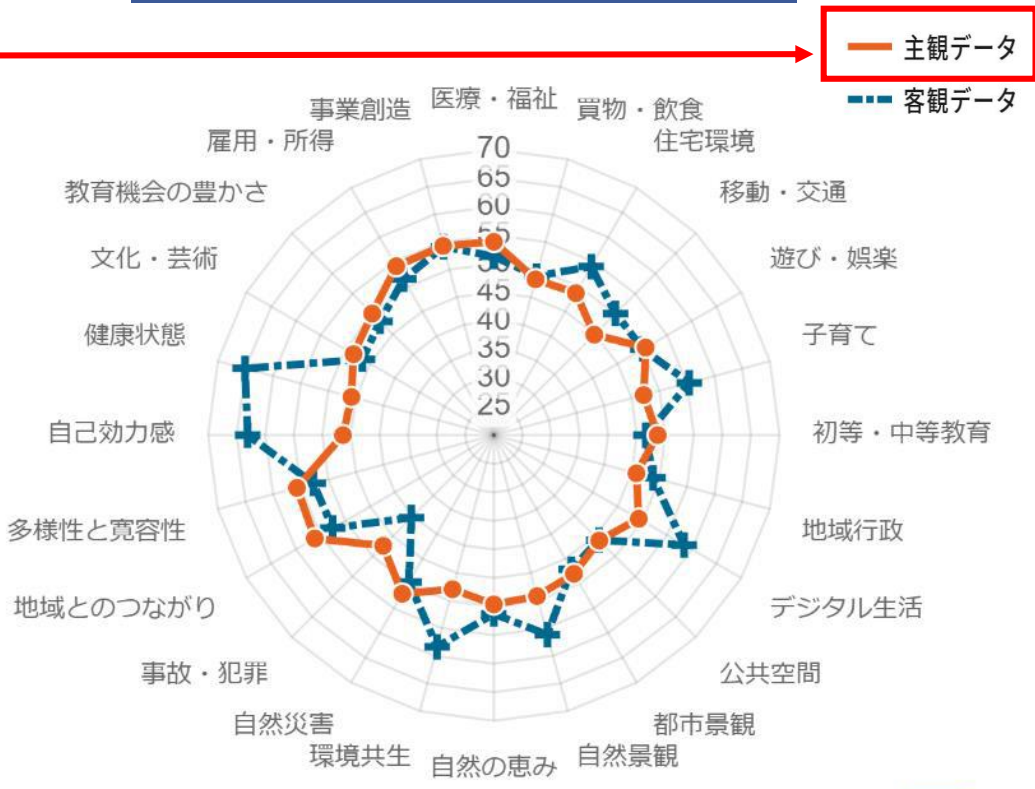
○ どちらとも言えない

○ あまりあてはまらない

○ 全くあてはまらない

調査・把握

分析後のイメージ



分析

デジタル庁がオープンデータを基に整理した、暮らしやすさを測る「客観データ」と今回調査・把握した「主観データ」を比較・分析し、各分野ごとの本市の強みや弱みを把握して政策立案の基礎とする

PoliPoli Gov（政策共創プラットフォーム）

概 要

多様な世代・職種・立場の市民が、時間や場所に縛られず自由に意見やアイデアを提案できる新たな場「PoliPoli Gov」を活用し、「暮らしやすいまちに、あなたが必要と感ずること」に対する意見等を募集

期 間

令和6年12月27日(金)～令和7年2月7日(金)

意見方法

PoliPoliGovの専用webページからオンライン投稿(別添チラシのQRコードより)

特 徴

- ① デジタル上で意見募集することにより、「時間に捉われず継続的な対話や議論が可能」
- ② 匿名での発言も可能であるため、対面リアルでの会議体等では困難な「立場に捉われずに発言が可能」
- ③ いいね👍や返信機能を活用した「デジタル対話が可能(意見の深堀が可能)」
- ④ デジタル庁、こども家庭庁、経済産業省、東京都、群馬県、横浜市など、「多数の国・自治体で実績あり」

PoliPoli Gov（政策共創プラットフォーム）

PoliPoli Gov webサイトイメージ



「あなたのアイデア」を投稿して社会の仕組みをつくろう

🔍 PoliPoli Govってどんなサービス？

📖 PoliPoliGov政策進捗公開中

過去に実施した意見募集が、反映された政策を紹介！詳しくはこちらをクリック

募集中の相談



投稿するテーマをクリック

意見・アイデア投稿画面サンプル

相談内容へのコメント

伝えたいことや論点が複数ある場合はコメントを分けましょう。別のコメントとして投稿されます。

コメント...

+ コメントを追加する

あなたと横浜市の関わり

選択 必須

あなたの年代

選択 必須

コメントを送る

意見・アイデアの類型化

サービス特徴

- ✓ ユーザー登録不要
- ✓ システム構築不要
- ✓ 不適切なコメント除外機能
- ✓ 分かりやすい操作性
- ✓ コメント分析・レポート
- ✓ 返信(対話)機能
- ✓ 共感(いいね👍)機能あり

SAMPLE



投稿された意見やアイデアに対し、「対話」を行いながら活性化・深掘りを行い、
最終的には関係部署へ共有することで、今後の政策立案の参考とする